

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

検修^{全面}外注化に怒りの声を

10月から駅派出業務・本区の融合化提案



JR東日本は10月1日から駅派出業務を本区と融合化しようとしています。事実上、「派出対応はもう行わない」に等しいものです。乗務員は何かあっても駅に到着時さえ車技に対応してもらえなくなります。

さらに、来年4月から新系列車両の機能保全の外注化を可能にすると提案しています。

“現場の反乱”を恐れている

会社は「交番検査を委託している職場で車両が新系列に置き換わるからだ」と説明しています。しかし、現場で働いていれば、検修全面外注化と分社化・転籍の動きであることは誰もが感じることで

です。会社は説明で、「新たな出向はない」「すべて外注化ではない」と強調しています。しかし、「来年4月の段階では」という意味でしかありません。なにより、その時に狙われるのは転籍です。

なぜ、会社はこんなごまかしを行うのでしょうか？

それは現場の怒りの反乱を恐れているからです。動労千葉は外注化に立ち向かい、12年以上にわたって阻止しました。

会社が外注化強行に踏み切れなかった最大の理由は、現場の怒りの決起と動労千葉への加入を恐れていたからです。会社の弱点がここにあります。

転籍は、労働者、労働組合の同意なく強制できません。会社は、労働組合の力と現場の怒りの反乱を恐れています。

カギは闘う労働組合の力

JR東日本でも車輪・車軸の組立作業で記録の改竄と隠蔽が明らかになりました。東北新幹線では走行中に連結部分が外れる前代未聞の事態が起こっています。

鉄道業務を軽視し、職名廃止・融合化や外注化を進めればさらに安全は崩壊します。

*

カギは闘う労働組合の力です。団結して闘えば、融合化攻撃も全面外注化攻撃も打ち破れます。動労千葉に結集し、全面外注化、分社化・転籍反対の声をあげよう。